

下商物語

(その五十三)

現存する校舎・施設・設備のはなし

本校教諭 林 俊行

ここ千畳原に大正の終わりに名

池山から校舎が移転して早や九十

年余りが過ぎましたが、参考まで

に現存する校舎の主な建物・施設・設備がいつ頃できたのかをま

とめてみました。創立記念の節目

に造られたものも少なくありません。日頃何気なく使用している校

舎・施設・設備について知ってみ

ませんか。

昭和三十九年十月 学校寮「千畳

原寮」 ※創立八十周年

昭和四十三年三月 商業科棟(前

年に一階が完成)

昭和四十五年十二月 電子計算機

導入(リース方式)

昭和四十七年十月 体育館

※創立八十八周年

昭和四十九年八月 プール

※創立九十周年

昭和五十三年六月 弓道場 十月

体育部室(グラウンド)

昭和五十九年四月 新校舎(生徒

棟・管理棟) ※創立百周年

平成二年三月 サブグラウンド

(テニスコート・多目的コート)

平成六年四月 新図書館(万古

館) ※創立百十周年

平成十九年一月 空調設備設置

(普通教室)

平成二十一年三月 ダッグアウト

(運動場)

平成二十五年四月 新講堂

※創立百三十周年前年



完成時の商業科棟



旧校舎解体



校舎改築時のラレハブ

筆者が昭和四十七年四月に本校

に入學しましたから、その年に完

成した体育館やプールなどほとん

どものが完成した時の頃に立ち

会っています。特に、創立百周年

記念事業で旧校舎から新校舎に移

転する際の大変だった作業を教職

員と生徒達で行ったことが今でも

鮮明に思い出されます。旧校舎の

取り壊しで更地から新校舎が建て

変わる姿を待ち遠しく見守り、先

に生徒棟が完成して真新しい校

舎・教室で気持ちよく授業が出来た

ことは忘れません。校舎内の壁画

にも当時の美術担当の岸先生が思

いを込めて素晴らしいものを完成

されました。百年史の図録編にそ

の解説が掲載されています。また、

講堂に関しては千畳原校舎に移転

した当時申請されたものの予算的

な理由等で叶わなかったものの創

立五十周年で卒業生の寄付で待望

の講堂が完成し、その後新しく創

立百三十周年を迎えるにあたって

市当局や卒業生の力で新講堂が出

来たことも忘れられません。以前

にはなかったセミナーハウス機能